

保育士試験の改正について

1 試験科目の見直し

(1) 科目の統合

児童の保健(「小児保健」と「精神保健」を統合)

(理由)

心身の両面から総合的に学び、保育実践との関係で児童の心身の健康と安全について、具体的に理解できるようにするため。

(2) 科目の強化

保育の心理学(「発達心理学」の内容の強化)

(理由)

発達心理学の内容を保育との関連で強化するとともに、子どもの発達に応じた子ども理解や学びの課程について、保育実践を通じて具体的に学ぶことができるようにするため。

(3) 科目名の変更

児童福祉 児童家庭福祉
 小児栄養 児童の食と栄養
 養護原理 社会的養護

(現 行)				(改正案)			
科 目	時間(分)	満点	幼稚園教諭 免許所有者	科 目	時間(分)	満点	幼稚園教諭 免許所有者
社会福祉	60	100		社会福祉	60	100	
児童福祉	60	100		児童家庭福祉	60	100	
発達心理学	30	50	免除	保育の心理学	60	100	免除
精神保健	30	50		児童の保健	60	100	
小児保健	60	100		児童の食と栄養	60	100	
小児栄養	60	100		保育原理	60	100	
保育原理	60	100		教育原理	30	50	免除
教育原理	30	50	免除	社会的養護	30	50	
養護原理	30	50		保育実習理論	60	100	
保育実習理論	60	100		保育実習実技	60	100	
保育実習実技	(都道府県で定める)	100	免除	保育実習実技	(都道府県で定める)	100	免除

2 実技試験(保育実習実技)の分野の見直し

分野の内容・名称、実施方法の変更

(1)分野の統合

言語、一般保育 言語・身体表現に関する技術

(理 由)

保育の表現技術に関わる内容を、保育士養成課程の教科目「保育の表現技術」の内容に照らし合わせ、子どもの遊びや保育実践に活用することを重視する。

このため、「言語」と「一般保育」を統合し、「言語・身体表現に関する技術」の分野を設け、保育実践力を強化する。

また、「一般保育」の分野にある「ロールプレイ」、「お話づくり」は、言語・身体表現に関する分野に読み込み、「保育技術の自由実践」は音楽、造形、言語・身体表現の各分野の自由課題で対応する。

なお、言語・身体表現に関わる内容を1つの分野として実施する。

(2)分野名の変更

音楽 音楽表現に関する技術
絵画制作 造形表現に関する技術

(3)実施方法の変更

(改正前)実施者が4分野から3分野を選択し、受験者がその3分野から2分野を選択。

(改正後)受験者が3分野から2分野を選択。

(現 行)	(改正案)
分 野	分 野
音楽	<u>音楽表現に関する技術</u>
絵画制作	<u>造形表現に関する技術</u>
言語	<u>言語・身体表現に関する技術</u>
一般保育	